

令和2年度ヨーロッパザラボヤ付着情報(第1報)

令和2年5月13日

発行:岩手県水産技術センター

協力機関:沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

今年度からヨーロッパザラボヤの付着状況を情報発信します。
今年度の新たな付着はまだ見られていません。

<調査方法>

- ・山田湾内の定点において調査。
- ・ホタテガイ貝殻製の付着器を5m、10m、15m水深に3枚ずつ垂下し、約1ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ(1mm以上)を計数。
- ・平均付着数:9枚(3水深×3枚)の付着器1枚あたりの平均値。

<調査結果>

付着器投入日:令和2年3月26日

付着器回収日:令和2年4月24日

- ・4/24の水深5・10・15m層の平均水温は9.2℃、透明度は11mでした。
- ・付着器へのヨーロッパザラボヤの付着はありませんでした。
- * 過去2年間のデータでは4月から5月にかけて付着が開始しています。

月	平均付着数/枚		
	2018年	2019年	2020年
1	5	5	6
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5	3	2	
6	353	1004	
7	155	550	
8	45	163	
9	9	28	
10	22	32	
11	27	43	
12	34	14	

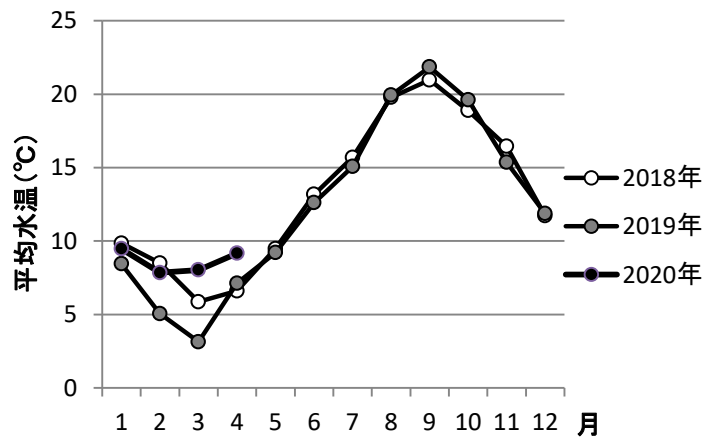


図1 山田湾定点における平均水温(5・10・15m)の推移

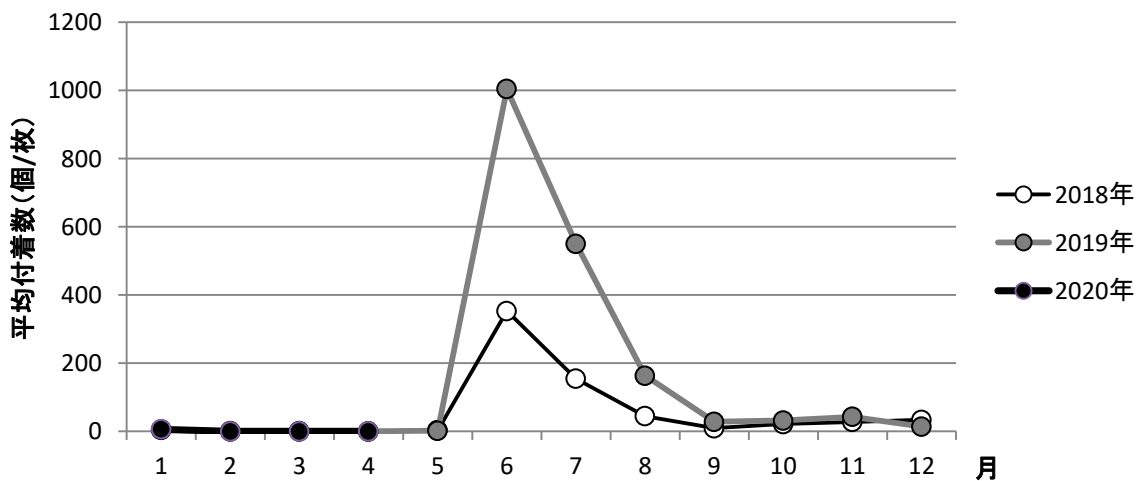


図2 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

次報は、5月末頃に発行する予定です。